

—中山間地域等を元気にするため  
多様な取組を後押しします—

# 中山間地農業ルネッサンス事業 ～取組事例集～ ver.2.0

令和8年3月  
農林水産省

※令和4年度から令和6年度までに完了した地区を抜粋して整理したものです。

# 目 次

都道府 県・市町 村	事 例	事業 年度		中山間地農業 ルネッサンス推進支援				元気な地域 創出モデル支援					キーワード	頁	
		着手	完了	地域の特色を活かした創意工夫 にあふれる取組	所得向上や担い手の定着に向け た活動	地域の所得向上に向けた体制整 備等への取組	説明会・懇親会の開催	収益力向上に関する取組 高収益作物の生産	販売力強化に関する取組 高付加価値化・販売力強化	農用地保全に関する取組 棚田地域の振興	複合経営に関する取組 複合経営・半農半X	生活支援に関する取組			デジタル技術の活用
北海道	中山間地の課題解決 に向け多様な取組を 展開	R4	R4	○	○		○							スマート農業、担い 手育成、農福	1
岩手県	集落機能の維持・強 化に向けた地域ビジョ ンの作成・実践支援	R4	R4	○										地域ビジョン、農村 RMO、商品開発	2
宮城県 松島町	バイオ炭による環境 負荷低減と新たな鳥 獣被害対策への取組	R5	R6							○				廃竹、もみ殻、バイ オ炭、鳥獣被害対 策、環境負荷低減	3
山形県 白鷹町	紅花の「紅(あか)」を テーマとしたブランド 化への取組	R4	R4		○									紅花、イメージアッ プ、PR活動、交流人 口	4
福島県	農村関係人口の取組 拡大、新規就農者確 保と技術向上	R4	R4				○	○						就農相談、就農者 研修、農村関係人 口	5

# 目 次

都道府県・市町村	事 例	事業年度		中山間地農業 ルネッサンス推進支援				元気な地域 創出モデル支援					キーワード	頁	
		着手	完了	地域 の特色を 活かした 創意工夫 にあふれる 取組	所得向上 や担い手の 定着に向け た活動	地域の所得 向上に向けた 体制整備等 への取組	説明会・懇 親会の開催	収益力向上 に関する取組 高収益作物 の生産	販売力強化 に関する取組 高付加価値 化・販売力 強化	農用地保 全に関する 取組 棚田地域の 振興	複合経営に 関する取組 複合経営・ 半農半X	生活支援に 関する取組			デジタル技 術の活用
山梨県 甲州市	デジタル技術を活用した出荷システムの導入による果樹産地の販売力強化	R5	R5						○				○	システム導入、出荷体制構築、作業効率	6
長野県 上田市	都市農村交流を通じた棚田の活用による地域振興	R4	R4							○				棚田、酒蔵、都市農村交流	7
新潟県 上越市	元気な農業づくり推進員等による「将来ビジョン」作成と実践支援の取組	R4	R4				○							地域ビジョン、伴走支援、体制構築	8
富山県 富山市	中山間地における地域資源の需要期に対応した優位販売による魅力ある農業の創出	R4	R4					○					○	シャクヤク、開花技術、高温障害対策	9

# 目 次

都道府 県・市町 村	事 例	事業 年度		中山間地農業 ルネッサンス推進支援				元気な地域 創出モデル支援					キーワード	頁	
		着手	完了	地域の特色を活かした創意工夫 にあふれる取組	所得向上や担い手の定着に向け た活動	地域の所得向上に向けた体制整 備等への取組	説明会・懇親会の開催	高収益作物の生産 収益力向上に関する取組	販売力強化に関する取組 高付加価値化・販売力強化	農用地保全に関する取組 棚田地域の振興	複合経営に関する取組 複合経営・半農半X	生活支援に関する取組			デジタル技術の活用
福井県	新たな地域資源の創出と交流促進による中山間地域の活性化	R4	R4		○	○								ワイン、人材育成、農村体験、都市農村交流	10
岐阜県 恵那市	食文化ストーリーブックによる食文化の担い手育成と継承	R4	R4	○										食文化、情報発信、販売促進	11
愛知県 岡崎市	耕作放棄地への楮(こうぞ)の植栽と製品化による新たな収益源の創出	R4	R4					○	○					楮、栽培試験、栽培手法、商品化	12
三重県 紀北町	限られた地域資源を活用した高収益作物の栽培と販売方法の検討	R5	R6					○	○					土壌調査、栽培マニュアル、ジャガイモ	13

# 目 次

都道府 県・市町 村	事 例	事業 年度		中山間地農業 ルネッサンス推進支援				元気な地域 創出モデル支援					キーワード	頁	
		着手	完了	地域の特色を活かした創意工夫 にあふれる取組	所得向上や担い手の定着に向け た活動	地域の所得向上に向けた体制整 備等への取組	説明会・懇親会の開催	収益力向上に関する取組 高収益作物の生産	販売力強化に関する取組 高付加価値化・販売力強化	農用地保全に関する取組 棚田地域の振興	複合経営に関する取組 複合経営・半農半X	生活支援に関する取組			デジタル技術の活用
滋賀県	中山間地域の集落と 企業や大学等が連携 した関係人口の創出 と拡大の取組	R5	R5							○				人材育成、伴走支 援、協働活動	14
京都府	スマート技術の勉強 会やマニュアル普及 等によるスマート農業 技術の推進	R4	R4				○	○						スマート技術、栽培 技術、栽培管理	15
兵庫県 豊岡市	コウノトリ育む農法を 軸とした所得向上の 取組	R4	R4		○									水稲、高付加価値、 スマート農業	16
奈良県 明日香村	棚田オーナー制度の 活動継続がもたらす 棚田景観の保全	R4	R4							○				棚田、鳥獣被害対 策、農用地保全	17
島根県	水田園芸の推進によ る水田農業での収益 性向上	R5	R6					○						水田園芸、機械化、 栽培指針、栽培指 導	18

# 目 次

都道府県・市町村	事 例	事業年度		中山間地農業 ルネッサンス推進支援				元気な地域 創出モデル支援					キーワード	頁	
		着手	完了	地域 の特色を 活かした 創意工夫 にあふれる 取組	所得向上 や担い手の 定着に向け た活動	地域の所得 向上に向けた 体制整備 等への取組	説明会・懇 親会の開催	高収益作物 の生産 高収益作物 に関する取組	販売力強化 に関する取組 高付加価値 化・販売力 強化	農用地保全 に関する取組 棚田地域の 振興	複合経営に 関する取組 複合経営・ 半農半X	生活支援に 関する取組			デジタル技 術の活用
広島県 北広島町	将来を担う若手農家の掘り起こしと育成による産地強化	R4	R4		○									就農支援、就農者研修、産地強化	19
山口県 長門市	棚田地域の魅力を発信！～美しいふるさとを未来へ～	R4	R4							○				棚田、情報発信、農村関係人口	20
徳島県	世界農業遺産「傾斜地農耕システム」など地域の継承と保全に向けた農泊経営者等の経営力向上支援	R6	R6			○	○							農泊、スキルアップ、農泊研修	21
香川県	中山間地域等における集落機能強化及び多様な担い手の確保に向けた支援	R4	R4	○	○									人材確保、半農半X、農泊、都市農村交流	22

# 目 次

都道府 県・市町 村	事 例	事業 年度		中山間地農業 ルネッサンス推進支援				元気な地域 創出モデル支援					キーワード	頁	
		着手	完了	地域 の特色を 活かした 創意工夫 にあふれる 取組	所得 向上や担 い手の定 着に向け た活動	地域 の所得向 上に向け た体制整 備等への 取組	説明会・ 懇親会 の開催	高収益 作物の生 産 高収益 向上に関 する取組	販売力 強化に関 する取組 高付加 価値化・ 販売力 強化	農用地 保全に関 する取組 棚田地 域の振興	複合 経営に 関する 取組 複合 経営・ 半農半 X	生活 支援に 関する 取組			ディ ジタル 技術の 活用
高知県	農林水産物の直販所 間取引による経営力 向上を支援	R5	R6						○					直販所、交流商談 会、店舗経営	23
佐賀県	中山間チャレンジコー ディネーターの派遣や 成果報告会の開催、 事例集の作成	R4	R4	○	○		○							人材支援、情報発 信、伴走支援	24
熊本県 山鹿市	地域資源を活かした 農畜産物の高付加価 値化による魅力ある 農業の創出	R4	R4						○					栗、スイーツ、商品 開発	25
宮崎県	中山間地域で稼げる 集落モデルの構築と 実証	R4	R4		○		○							構想策定、加工品 開発、茶	26
鹿児島県 大隅地域	農福連携による農産 物の高付加価値化	R4	R4						○					農福、商品開発、 フードロス	27

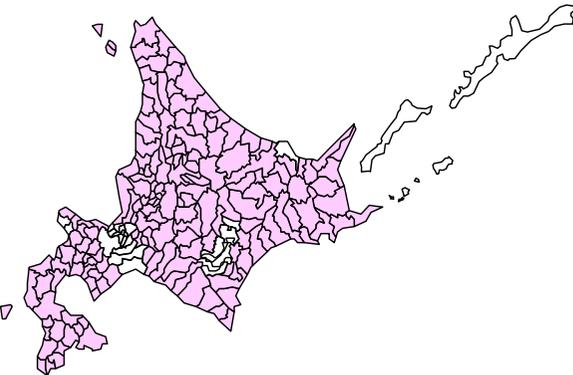
### 【地域の現状・課題】

- 本道の人口は、平成9年（1997年）をピークに、全国を上回るスピードで減少。
- 多くの地域では、少子高齢化、過疎化が進行し、労働力の減少はもとより、担い手不足や生産と消費の縮小、地域におけるコミュニティの活力低下など、地域経済や道民生活への様々な影響が危惧されている。
- 特に、高齢化や人口減少が著しい中山間地域等では、農業生産活動が困難となり、耕作放棄地の増加等による多面的機能の低下、集落機能の衰退が懸念されており、継続した支援が必要。

### 【地域の位置】

#### 【北海道】

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島振興、離島振興、特別豪雪、指定棚田、農林統計上の中山間地域]



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 道及び各地域段階において課題に応じた取組

- 新技術の普及推進（空知、上川、オホーツク）
  - ・スマート農業研修会の開催、ICT活用等の事例調査
  - ・省力化、低コスト化技術の実証・普及
- 担い手の定着に向けた活動（全道）
  - ・新規就農者の地域への定着と経営継続に向けた説明会、Uターン就農者の意見交換会、農作業体験会等の開催
- 雇用就農への理解を深める取組（全道）
  - ・農業法人の見学会の開催
  - ・定住イベント（農福連携）の開催



〈Uターン就農者の意見交換会〉

#### 事業完了後の展開

#### 事業成果を活用した取組事例

#### 各地域で課題解決に向けた取組を展開

- スマート農業に関するシンポジウム等の「情報交換の場」の設置
- 省力化の栽培技術（高密度は種短期育苗栽培、高設栽培いちごへの溶液供給等）の発信
- 担い手対策を行う団体、外国人技能実習生受入の法人等との情報交換の場の設置
- 農福連携に向け専門人材の育成、技術支援者の派遣



〈高密度は種短期育苗栽培マニュアル〉

#### 地域を下支え

#### 地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

#### 地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金を活用した農地保全を推進



〈共同活動の様子〉

### 事業の効果

#### 多様な担い手と人材が活躍

- 道内では、それぞれの地域や営農形態に対応したスマート農業（ロボットトラクタ、ドローン等）を展開



〈ドローン防除〉

#### 〈農業用GNSSガイダンスシステム出荷台数〉 (累計台数)



- 農福連携に取り組む農業経営体数は年々増加  
(経営体)



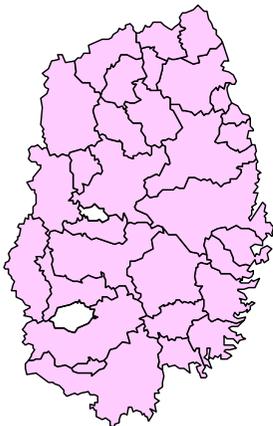
【地域の現状・課題】

- 中山間地域では、高齢化や人口減少の進行により、農業生産活動はもとより、農村集落機能や地域活力の急激な低下が懸念されている。
- 中山間地域の集落を維持・発展させていくためには、集落住民自らが魅力ある地域のビジョンを描き、その実現に向けた取組を進めていくことが重要である。
- しかし、中山間地域の集落においては、地域活動の核となる人材の不足等により、ビジョン作成や取組の推進が困難となっている。
- 一方、農村RMOの形成に向け、機運が高まってきている地域があり、地域の合意形成等への支援が必要である。

【地域の位置】

【岩手県】（矢巾町、金ケ崎町を除く全域）

〔指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎、指定棚田、農林統計上の中山間地域〕



中山間地農業ルネッサンス推進事業

地域リーダー育成と地域ビジョンの作成・実践支援

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 県庁及び現地機関で設置した支援チームが、各地域におけるビジョン作成と、ビジョンの実現に向けた実践活動を支援。
- 各地域におけるビジョン作成や実践活動をけん引する地域リーダーを育成するため、集落代表者等を対象とした研修会を開催（89人参加）。
- 支援チーム員による地域活性化の先進地事例調査を実施し、地域内の合意形成手法などの知見が得られ、各地域におけるビジョンの策定・実践の支援に活用。



地域のリーダーを育成するセミナー

取組を高度化

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

農村RMOモデル形成支援と県伴走支援体制の構築

- 地域協議会による農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン策定とビジョンの実践を支援。
- 県の部局や関係機関・団体等で構成する「いわて農村RMO伴走支援連絡会」を設置し、伴走支援を実施。



農村RMO伴走支援連絡会

【農山漁村振興交付金（農村RMO形成推進事業）】

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農地等の保全管理の推進など、地域を下支えする共同活動を推進。  
【多面的機能支払交付金（支援事業）】  
【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

事業の効果

地域ビジョンの作成と実践

- 令和4年度は新たに3地区が地域ビジョンを作成。平成28年度からのビジョンの累計作成数は36地区。
- 各地区がビジョンに基づき、地域資源を活用した特産品開発や農作業体験交流イベント等を実施。



地域特産農産物の加工品開発



田植え交流イベントの開催

農村RMO形成の促進

- 令和4年度から令和6年度までに、5つの地区で農村RMOが形成。

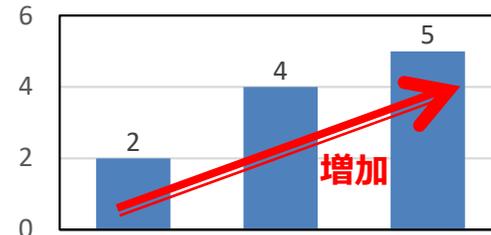


地域ビジョンの作成



高齢者の外出支援

(地区) <農村RMOの形成地区数(累計)>



# バイオ炭による環境負荷低減と新たな鳥獣被害対策への取組

## 【宮城県仙台地域】(松島町)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					デジタル技術の 活用
	収益力向上	販売力強化	農用地保全	複合経営	生活支援	

### 【地域の現状・課題】

- 松島町では、竹林整備後の伐採した竹や枯れた竹、牡蠣養殖棚の廃棄竹や稲作で乾燥調整後に排出されるもみ殻の処分方法が課題。
- 町内で課題となっている竹や稲等の植物は、成長過程で二酸化炭素を吸収するため炭素を多く含んでいる。放置すると、微生物が植物を分解し、再び二酸化炭素として大気中に放出されることから、地球温暖化の原因の一つとなっている。
- 町内各地でイノシシ・ニホンジカなどの害獣による農地や農作物への被害が相次いで発生している。  
現状の鳥獣被害対策だけでは対処できず、新たな対策を検討する必要がある。

### 【地域の位置】

【宮城県】(松島町)  
[指定地域： 過疎、農林統計上の中山間地域]



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### バイオ炭製造、農地利用における効果検証

##### 【元気な地域創出モデル支援】

- バイオ炭や農業における環境課題について理解を深めるため、町内農業者や関係者に対し、バイオ炭に関するセミナー及び意見交換会を実施。
- 処分方法が課題となっている廃竹、牡蠣養殖棚の廃棄竹、真竹、孟宗竹、もみ殻について、簡易炭化機を用いた炭化によりバイオ炭を製造し、有害物質を測定。基準値以下であることを確認のうえ農地に施用。
- バイオ炭製造の副産物であるタールや木酢液を散布し、イノシシ・ニホンジカなどの被害軽減の効果を検証。



簡易炭化機を用いた「もみ殻」の炭化作業

#### 事業完了後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 環境負荷低減と鳥獣被害軽減対策の新たな手法

- 手入れされない竹林、樹木等を廃棄処理せずに「バイオ炭」として農地施用することで、農地炭素貯留による二酸化炭素の放出削減により、環境負荷低減の促進としてみどりの食料システムに貢献。
- 害獣に対し、タール等の臭いによる短期間の忌避対策効果が得られたことから、農作物被害が発生しているほ場周辺への木酢液の埋め込みを行い、引き続き鳥獣被害対策に努めている。

### 事業の効果

#### みどりの食料システムへの貢献

- バイオ炭に関するセミナー及び意見交換会の実施により、バイオ炭の二酸化炭素放出削減効果や環境負荷低減に対する理解が深まった。
- 基準値内のバイオ炭を農地に施用することで、J-クレジット制度やクルベジの活用が期待される。バイオ炭施用地の農作物を町内ホテル業者や飲食業者が使用することにより、町全体への波及効果が見込まれる。
- 令和6年9月の大雨等による倒伏状況を比較したところ、バイオ炭施用地では1割程度、バイオ炭未施用地では9割程度の倒伏が見られた。バイオ炭施用地では、軽減されたことが確認された。

<大雨等による倒伏面積の比較>



- タール等による獣害被害の軽減効果は、ペットボトルの容量や、ほ場の日照時間の違いはあるが、3ヶ月程度の効果が確認された。



散布前のタール・木酢液



タール・木酢液の設置

# 紅花の「紅(あか)」をテーマとしたブランド化への取組

おきたま しらか  
【山形県置賜地域】(白鷹町)

中山間地農業  
ルネッサンス  
推進支援

元気な地域創出モデル支援

収益力向上

販売力強化

農用地保全

複合経営

生活支援

デジタル技術の  
活用

## 【地域の現状・課題】

### 【現状】

- 県花「紅花」の主産地として紅花生産を継続するとともに、観光資源としても活用し、生産と観光を両輪として、地域づくりと観光振興を行っている。
- 紅花文化の継承を推進するため、産地としての知名度向上、担い手の確保に向けた取組が求められている。

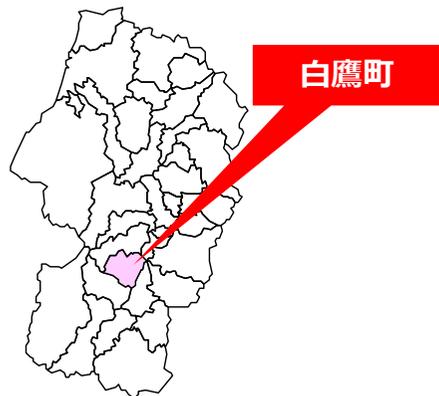
### 【課題】

- 産地としての知名度向上
- 生産者の高齢化による担い手不足
- 連作障害の影響による生産面積の減少
- 紅花文化の継承が危がまれている

## 【地域の位置】

【山形県西置賜郡白鷹町】

【指定地域： 過疎、特農、山村、特別豪雪】



白鷹町

## 中山間地農業ルネッサンス推進事業

### 紅花の紅(あか)にこだわった取組

#### 【紅花の販路拡大事業】

- 紅花の需要拡大に向けた首都圏や隣県及び県内での販売促進活動の実施

#### 【SHIRATAKA REDのイメージアップ事業】

- 紅花の紅(あか)にちなんだ関連イベントを通じたPRの実施

#### 【紅花の栽培推進事業】

- 品質と品種にこだわった紅花を使用した加工品を製作するため、土壌改良及び種子確保等に対する支援を実施し、他と差別化した白鷹町の紅花のブランド化の推進

### 取組を深化

### 課題解決への取組

#### <SHIRATAKA REDブランドの確立>

- 友好都市における町外でのPR活動の実施



< SHIRATAKA RED イメージアップ事業の開催状況 >

#### <安定生産に向けた取組>

- 第2世代交付金を活用し、課題である「連作障害」の対策に向けて土壌分析等を行い、その結果を生産者と共有し、安定した生産量の確保に向けた取組を実施



【新しい地方経済・生活環境創生交付金(内閣府)】 < 生産者研修会の状況 >

### 地域の下支え

### 紅花の文化継承と生産の確保

- 町内の小・中学校や高校及び、企業と連携したボランティア活動
- 集落支援員の配置とHPを活用した担い手の募集

【集落支援員(総務省)】

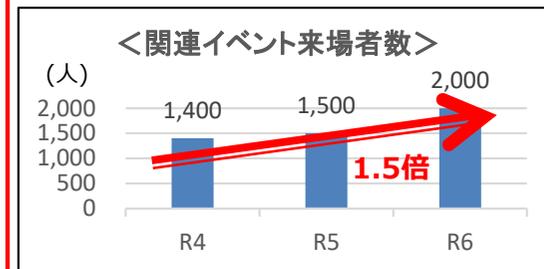
<紅花摘みの様子>



## 事業の効果

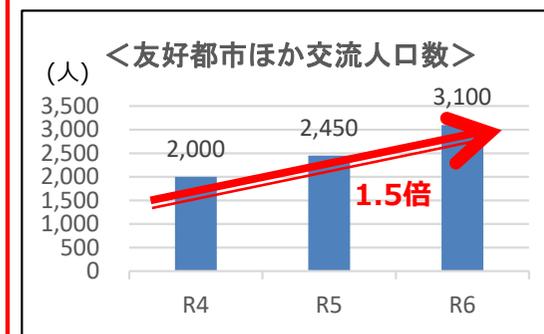
### 年間来場者数の増加

- イベントの定期開催による来場者数の増加



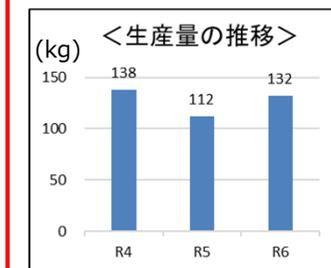
### 友好都市との交流人口の増加

- 友好都市でのイベント開催による交流人口の増加
- 埼玉県桶川市との紅花友好都市協定締結による紅花を核とした継続的な交流の実施



### 生産量の堅持

- 染料等(もがみ紅花)の生産量維持



※連作5年目

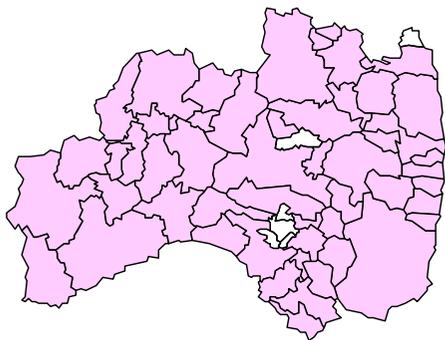
【地域の現状・課題】

- 県内各地で、過疎・高齢化等により、農業者や共同作業の従事者が減少しており、地域住民のみでの農用地保全が困難になっている。  
農村関係人口の活用による農用地保全について、県内での理解醸成やモデル事例を増やすことが必要である。
- 農業の活性化にあたっては、新規就農者の確保による産地基盤の強化が重要であるため、就農相談会等を通じたより計画的な就農への誘導が必要である。  
併せて、就農後の経営を継続していく必要があることから、生産面、経営面の両面へ支援を行い、さらなるレベルアップを図る必要がある。

【地域の位置】

【福島県】

[指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎等]



※ 本宮市、鏡石町、泉崎村、中島村、矢吹町、新地町を除く53市町村

中山間地農業ルネッサンス推進事業

農村関係人口の取組拡大、新規就農者確保と技術向上

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 農村地域振興セミナー、研修会やオンライン交流イベント等を開催した他、3地区に専門家を派遣し、地域内対話の支援、農村関係人口の創出・拡大を推進。
- 先輩就農者見学バスツアー、就農相談会の開催や就農促進パンフレットを配布。
- 就農希望者及び新規就農者に対し、新規就農者研修会を開催し、生産面、経営面の知識・技術習得を図った。



農村地域振興セミナー  
(サテライト会場も用意)



新規就農者研修会  
(鳥獣被害対策研修)

【元気な地域創出モデル支援】

- 先進技術研修会を開催し、農業者の技術向上を支援。

事業完了後の展開

事業の成果を活用した取組

農村関係人口の取組拡大、新規就農者の確保

- これまでの支援で判明した課題を解消すべく、R6に県単事業を構築し、取組希望地域と地域外人材とのマッチングを支援。
- 市町村や関係機関・団体との連携強化、新規就農者の受け入れ体制強化が図られ、安定して担い手が確保できた。



農村関係人口の支援等に係るチラシ



担い手確保に係る協議会

事業の効果

農村関係人口の拡大、新規就農者確保

- 農村関係人口の拡大に向けて、情報発信する地区が増加した。

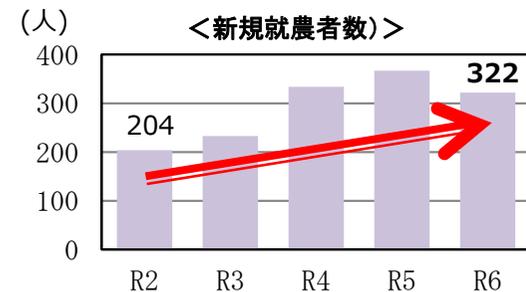
R6年度	目標	実績
農村関係人口の活用に係る相談件数	30件	48件
マッチングサイトへのイベント掲載件数	30件	33件

- 就農相談会の開催やパンフレットの活用等により、就農への理解醸成が進み、明確な就農ビジョンを持った新規就農者の確保につながった。



就農相談会

- 新規就農者数は、R4年度以降300人/年を超える状況が続いている。



# デジタル技術を活用した出荷システムの導入による果樹産地の販売力強化 【山梨県甲州市塩山地区】

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					デジタル技術の 活用
	収益力向上	販売力強化	農用地保全	複合経営	生活支援	

## 【地域の現状・課題】

- 甲州市は県内有数のぶどう・もも等の生産が盛んな果樹産地。
- 共選所の出荷・流通・精算システム等の電算及び伝票処理は、人手による対応となっており処理の間違いや時間のロス等が課題。
- 出荷ピーク時の出荷量の調整ができていないため、価格低下が懸念されている。
- デジタル技術を活用し、効率的な出荷体制を構築することが必要。



果樹産地・甲州市のぶどう畑

## 【地域の位置】

### 【山梨県甲州市塩山地区】

[指定地域：特定農山村、過疎]



塩山地区

## 中山間地農業ルネッサンス推進事業

### 効率的な出荷体制の構築による販売力強化

#### 【元気な地域創出モデル支援】

- 計画的な出荷及び有利販売を推進するため、過去の出荷実績の分析を行うとともに、現在の出荷・流通・精算状況の実態を把握。
- 民間企業と連携し、品種や生産者情報のバーコード化などデジタル技術の導入による効果を検討するとともに、実態に基づく新たな出荷・流通・精算システムの実証。
- 共選所における出荷・流通・精算システムの導入及びデジタル技術を活用した効率的な出荷体制を構築。



事業活用に向けた検討会



新たに導入されたデジタル技術

## 事業完了後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 出荷・流通・精算システムのデジタル化による作業の効率化

- 実態に基づくシステムの導入により、出荷・流通・精算状況のデータを統合システムで一括管理することにより、迅速なデータ蓄積と分析の作業効率の向上を図る。



開発した荷受計数器システム



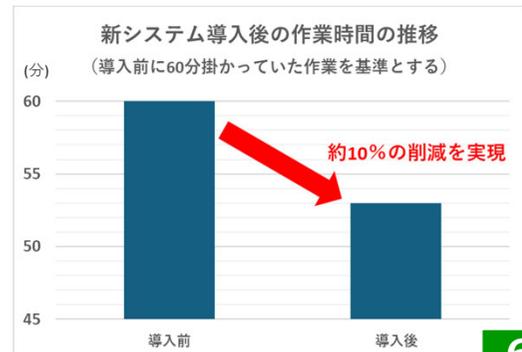
開発したシステムの使用状況

## 事業の効果

### 新システムの導入により作業効率が向上

- 荷受計数器システムの導入により、品種、規格、等級などの情報がバーコード化されたことで、スムーズな品種確定が可能になり、処理時間の短縮が図られた。
- 販売に関する市場状況システムの導入により、伝票の手入力から、自動で効率的にデータを取得することが可能となった。さらに、複数のサーバーからの接続が可能となり、過去情報の閲覧機能を設けたことにより、情報の把握や共有がしやすくなった。
- データを日毎、期間、品目等で多角的に可視化（グラフ化）し、マクロ情報（リスト形式）も出力ができるようになったことで、効率的に現状把握と、今後の販売戦略を立てることが可能となり、有利販売に繋がられた。

- 情報分析の作業時間 **10%削減**



【地域の現状・課題】

- 日本の棚田百選「稲倉の棚田」があり、地域住民による任意組織「稲倉の棚田保全委員会」が保全活動を実施
- 令和2年度に棚田地域振興法に基づく「指定棚田地域」の指定を受けるとともに、稲倉の棚田地域振興協議会が発足
- 平成18年度から棚田オーナー制度を実施  
平成27年度から活動を始めた地域おこし協力隊の努力もあり、オーナー数は上昇傾向  
(H18：13オーナー → R7：269オーナー)
- 平成29年度から地元酒造会社と連携した酒米オーナー制度を開始
- オーナー制度は順調であったが、コロナ禍による外出制限、イベントの自粛要請等により都市農村交流活動の実施に支障が生じていた

中山間地農業ルネッサンス推進事業

【元気な地域創出モデル支援】

- 「労力は2倍、収量は半分」と言われる棚田の保全活動を継続していくため、都市農村交流事業の充実
- コロナ禍における、感染対策に配慮した開催方法等の検討や、稲作だけに頼らない棚田の新たな活用方法について研究  
また、長野県による棚田パートナーシップ協定企業との連携
- 酒米オーナー制度で連携している酒蔵とオーナーが交流できるイベント  
「杜氏を囲む会」を初開催
- 松明をもって棚田内を練り歩き、五穀豊穰を祈願する「ししおどし祭り」を開催  
(子供への安全面を配慮し、竹を使った竹提灯を開発)



杜氏を囲む会



竹提灯



ししおどし祭り

事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

- 酒米オーナー数が急増し、杜氏を囲む会や生酒瓶詰会の希望者が多く、受入困難となったため、抽選により体験イベント（お酒の瓶詰・ラベル張りなど）を開催
- 「ししおどし祭り」の参加者が、年々増加  
地域のイベントとして定着



田植イベントは、2回に分けて開催



参加者が倍増した「ししおどし祭り」

【地域の位置】

【長野県上田市殿城地区】

[指定地域： 指定棚田]



殿城地区

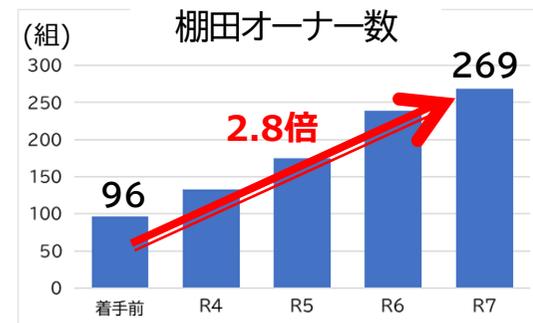
事業の効果

- 様々な企業・団体との連携事例が増加し、農業だけに頼らない都市農村交流活動が活発化



バレンタインイルミネーションに併せてバス会社とツアーを企画

- 行事は毎年少しずつ工夫を重ねながら実施し、成果を積み重ねている



# 元気な農業づくり推進員等による「将来ビジョン」作成と実践支援の取組

## 【新潟県上越地域】(上越市)

中山間地農業  
ルネッサンス  
推進支援

元気な地域創出モデル支援

収益力向上

販売力強化

農用地保全

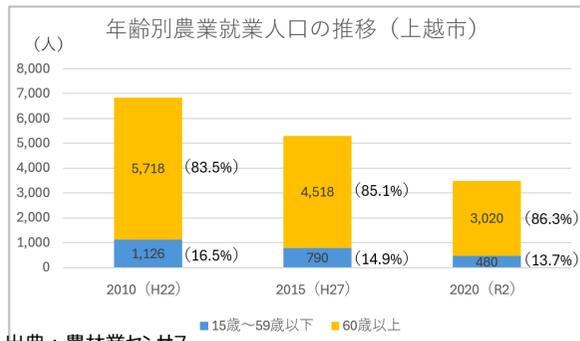
複合経営

生活支援

デジタル技術の  
活用

### 【地域の現状・課題】

- 中山間地域の条件不利な状況に加えて、担い手不足が深刻化しており、営農の継続と地域活力の低下が顕在化している。
- 中山間地域の農業が将来にわたって維持されるよう、農地利用や地域農業のあり方を明確にする「将来ビジョン」を作成するとともに、地域主体の特色ある取組を支援していく必要がある。



### 【地域の位置】

#### 【新潟県上越地域】(上越市)

(指定地域：特定農山村地域、振興山村、過疎地域、特別豪雪地帯、指定棚田)



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 地域の将来ビジョン作成に向けた支援

##### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 「将来ビジョン」の作成に向けて、農業の専門的な知識を有する「元気な農業づくり推進員」を配置。
- 市や県、JAで推進チームを構成し、元気な農業づくり推進員等がファシリテーター役となり、8つの地域自治区において、あらゆる世代が参加して、ワークショップ形式等による話し合いを行い、将来ビジョンを作成。

##### 「将来ビジョン」に掲げた5つの取組

- ① 担い手や後継者の確保・育成
- ② 農業生産維持に向けた作物選定と所得確保
- ③ 農業機械・スマート農機の共有化や共同利用
- ④ 土地利用の明確化と農地条件の改善
- ⑤ 中心的役割を担う組織体制の構築



将来ビジョンの策定に向けた話し合いの様子

#### 事業完了後の展開

#### 実証事業の成果を活用した取組

#### 将来ビジョンの実現に向けた実践支援

- 「将来ビジョン」の実現を後押しするため、試行的な取組などを支援する「将来ビジョン実践事業費補助金」を創設するとともに、取組の手助けを行う「元気な農業づくり推進員」を4人配置 (R5～2人増員) して、サポート体制を強化。

##### 資金と人材育成の両面でのきめ細かなサポート体制

- 将来ビジョン実践事業費補助金
- 中山間地域等直接支払交付金
- 多面的機能支払交付金
- 農山漁村振興交付金 等

中山間地域  
元気な農業づくり推進員や  
関係機関・団体で構成する  
「推進チーム」による伴走的な支援

### 事業の効果

#### 将来ビジョンに掲げた取組の実施

- 各地域の特産品のPRや新メニューの開発など特色ある取組を伴走支援している。各地域の取組が中長期的に継続され、自立できるよう地域の中心的な役割を担う組織体制の構築を目指している。



都内で地域の特産品をPR



そば祭りで提供するメニューの開発

- 将来的には、農業者や農業関係団体のみならず、町内会等が一体となった農村型地域運営組織 (農村RMO) を形成し、地域資源の活用や生活支援などの取組を推進し、農村地域の維持・活性化を目指す。

# 中山間地における地域資源の需要期に対応した優位販売による魅力ある

## 農業の創出

### 【富山県富山市八尾町保内地域・杉原地区】

中山間地農業  
ルネッサンス  
推進支援

元気な地域創出モデル支援

収益力向上

販売力強化

農用地保全

複合経営

生活支援

デジタル技術の  
活用

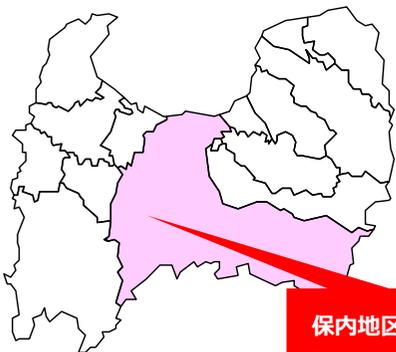
#### 【地域の現状・課題】

- 農業者の高齢化や担い手不足により、荒廃農地が増加しており、イノシシなどの農作物被害の拡大が懸念されていることから、JAあおば管内ではイノシシなどの農作物被害を受けにくい品目として切り花シャクヤクの産地化を目指している。
- これまで豊富な品種構成と中山間地の高低差を利用したリレー出荷に取り組んできた一方で、実需者からは「母の日」の出荷に対する需要が高く、慣行より早い時期の出荷に取り組む必要がある。
- そこで、萌芽前からトンネル被覆資材を活用した保温により、開花時期を前進する技術について効果を検証するとともに、母の日にも出荷できる産地として実需者と連携した優位販売を目指す。

#### 【地域の位置】

【富山県富山市八尾町保内地区・杉原地区】

[指定地域： 特定農山村、特別豪雪地帯、指定棚田]



保内地区・杉原地区

#### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

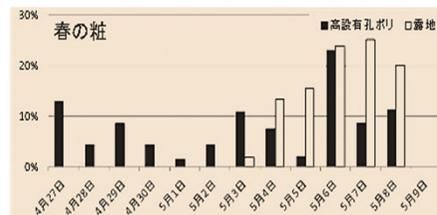
##### トンネル被覆による「切り花シャクヤク」の開花時期前進技術の検討

###### 【元気な地域創出モデル支援】

- トンネル被覆資材の利用による開花時期前進技術の検証  
・切り花シャクヤク栽培面積：57a
- トンネル被覆で開花時期が前進することを確認できた一方、高温障害が発生し、切り花の品質が劣化したり、防除やかん水管理に手間がかかったりする等の課題も明らかになった。
- トンネル被覆での課題は、先進地視察によりトンネルの大型化による高温障害の回避対策等の知見を得て、取組を行った。



実証ほ場(トンネル被覆)



実証試験の結果(収穫本数割合(%))

#### 事業完了後の展開

##### 実証事業の成果を活用した取組

##### 販売促進と花育活動

- 出荷時期の前進による「母の日」の需要に対応した優位販売の促進
- 関係機関へのシャクヤクの配布を通じた花育活動の促進



富山駅で産地PR活動



地域の中学校へシャクヤクを贈呈

#### 事業の効果

##### 販売額と出荷本数が増加

- 販売額は、令和元年度比で約3.8倍に増加する見込み

###### <切り花シャクヤクの販売額(JAあおば管内)>

(千円)



- 出荷本数は、令和元年度比で約2.6倍に増加する見込み

###### <切り花シャクヤクの出荷本数(JAあおば管内)>

(千本)

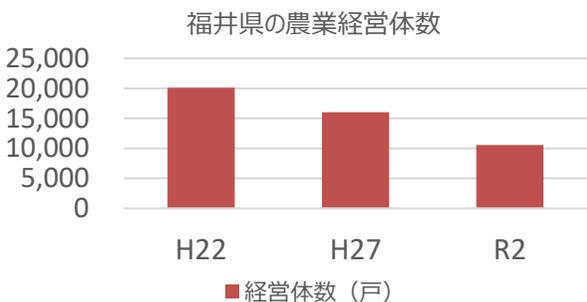


管内の切り花シャクヤクほ場

### 【地域の現状・課題】

#### 【現状】

- 高齢化により地域の農業経営体数が減少
- 担い手不足や耕作放棄地の増加



(出典：2020年農林業センサス)

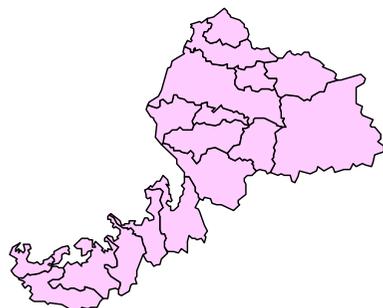
#### 【課題】

- 条件不利地である中山間地域に人を呼び込み、所得を確保するためには、里山里海湖ビジネスを推進させ、都市部との交流を図り活性化させることが必要

### 【地域の位置】

#### 【福井県】対象地域全域

- [指定地域：特定農山村、振興山村、過疎地域、豪雪地帯、特別豪雪地帯、指定棚田地域]



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### ワイナリーを基盤とし、都市と農村との交流を促進させ、中山間地域の活性化を図る

- ふくいワインカレッジでワイン用ブドウの作付者やワイナリー開業者等、ワイン生産にかかる人材を育成
- 農家民宿・農家レストランの開業に向けた研修を実施  
里山里海湖ビジネス（地域資源を活用したビジネス）を推進
- 観光農園・農家レストラン・農家民宿等をめぐり、農村を満喫できる「農遊地域」づくりの推進と観光客を誘導できる人材（農遊コンシェルジュ）の育成



ワインの醸造実習



農遊コンシェルジュ育成講座

#### 今後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 農村を堪能できる「農遊地域」の創出

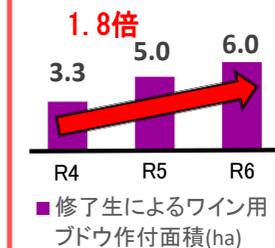
- ワイナリーを基盤とした中山間地域の所得向上と活性化
- ふくいワインの生産に対する県の補助事業を創設。また、ふくいワインカレッジにて営農販売戦略の作成を支援
- ワイナリー見学ツアー、農家民宿・レストラン、農遊コンシェルジュによるイベント等をめぐり、農村を堪能する「農遊地域」づくりを推進



### 事業の効果

#### 地域資源の創出と交流人口

- ワインにかかる営農・販売戦略を作成したワイナリー修了生の主な取組
  - ・ワイナリー開業  
ワイナリーを開業し、ワインの生産を開始
  - ・委託醸造でワイン生産  
収穫したブドウを委託醸造し、生産したワインの販売を開始



修了生のブドウ園

- 農遊コンシェルジュの認定

114名 (R3年)  
64名 (R4年)

計 178名



農遊コンシェルジュの活動の様子



地域資源を活用した収穫体験のイベントなどを自発的に開催し、農村を体感して満喫するツーリズムを推進

- 交流人口 (万人)



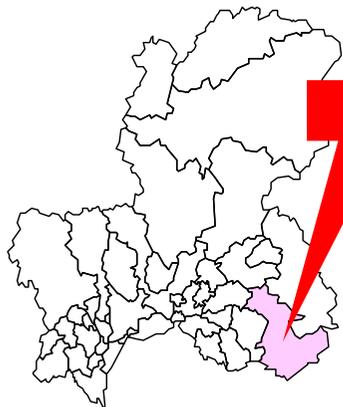
### 【地域の現状・課題】

- 恵那市の農業は、水稻のほか、主に夏秋トマト、イチゴ、クリ、シクラメンの生産している。また、養豚、養鶏等の畜産も盛んである。
- 高齢化により農業の担い手が減少し、深刻な状況である。  
(農業経営体：41%の減  
2,428戸(2010年) → 1,421戸(2020年))
- 兼業農家数の減少と耕作放棄地の増加に伴い地域の水田農業の維持、地域コミュニティの維持が難しくなっている。各種支援を通じた大規模受託農家や集落営農組織の育成が必要である。
- 夏秋トマトやクリなどの産地、畜産の維持・拡大のためには、技術・経営支援を通じた新規就農者、経営改善に意欲的な農業者の育成や企業参入など、多様な担い手の育成・確保が必要である。

### 【地域の位置】

【岐阜県恵那市】

[指定地域：特定農山村、振興山村]



恵那市

### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 食文化の担い手育成と継承

##### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 恵那市たべる推進計画の取組を推進し、当地域固有の食文化の担い手を育成することにより、当地域の魅力ある食文化の継承と地域活性化を図る。
- 当地域固有の食文化（細寒天、からすみなど）を継承するため、基本となる食文化ストーリーブック（地域資源の特徴や歴史などの説明書）を作成し、情報発信。



食文化を伝える料理教室

#### 取組を深化

#### 『食文化ストーリーブック』での食文化の伝承

- トマト、クリ、イチゴ、豚肉、細寒天、からすみ、年取りの煮物の7種類を作成。
- 伝承講座や飲食店、加工事業者での配布、恵那食農ポータルサイト「たべとる」に掲載し、地域内外へ食文化を発信。



食文化ストーリーブック

#### 地域での取組

#### 食文化の伝承と地元野菜の消費

- 伝承講座で学ぶことで、恵那の食材や伝統料理への関心が高まっている。



「からすみ」の伝承講座

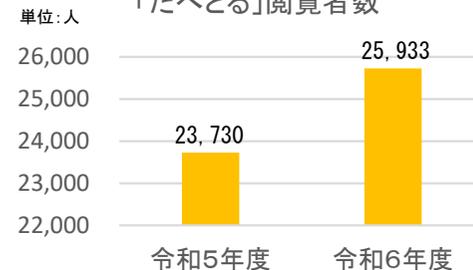
### 事業の効果

#### 食文化への関心・伝承の向上

- 恵那食農ポータルサイト「たべとる」に情報発信することで、閲覧する方が増えた（2,203人増）。



恵那食農ポータルサイト  
「たべとる」閲覧者数



- 観光物産展などで、商品と一緒にストリートブックを置くことにより、販売促進につながっている。



観光物産展での活用

# こうぞ 耕作放棄地への楮の植栽と製品化による新たな収益源の創出

【愛知県西三河地域】(岡崎市)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					デジタル技術の 活用
	収益力向上	販売力強化	農用地保全	複合経営	生活支援	

## 【地域の現状・課題】

- 担い手不足、収益の減少等を理由に離農する農業者が増加するとともに、耕作放棄地が増加している。
- 岡崎市では、耕作放棄地の有効活用の1つとして、かつて三河地方で栽培の盛んであった漆の産地化・ブランド化に取り組み始めている。
- 様々な用地条件がある中で、耕作放棄地を有効活用していくには、高収益作物の導入も必要であり、楮を選定した。楮は、紙の原料以外にも、昔から布を作るのにも利用されており、毎年収穫できるという利点もある。
- 岡崎市は、古くから繊維業が盛んであり、地域産業の1つとなっている。
- 地域産業の特色を活かし、地域条件に適応した楮の栽培手法の確立、楮を活用した製品化に取り組み、耕作放棄地を活用した新たな収益源の創出を図る。

## 【地域の位置】

【愛知県西三河地域】(岡崎市額田地区)

[指定地域： 特定農山村、振興山村、指定棚田]



**岡崎市  
額田地区**

## 中山間地農業ルネッサンス推進事業

### 楮の栽培と繊維採取の試験的実施

#### 【元気な地域創出モデル支援】

- 苗木の育成手法検証として、自生している楮の挿し木及び株分け等による育苗試験の実施、植栽地において栽培の実証試験を実施。
- 楮から繊維採取に取り組むとともに、繊維採取で発生する幹・枝部分の残渣を利用した製品化に向けた試験も実施。



【楮の実証栽培】

【楮の繊維採取の作業】

## 事業完了後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 楮の継続的な栽培管理体制及び収穫後の製品化の体制整備

- 民間事業者により楮の加工施設の整備が行われ、製品化に必要な繊維採取に向けた体制整備の構築。
- 製品化の需要を見込み、楮の栽培面積を増加させ、地域住民による栽培管理を実施。



【楮の加工施設】



【楮の植栽地の維持管理】

## 事業の効果

### 栽培技術の確立により栽培面積増加

- 楮の栽培手順等を事例として取りまとめ、市ホームページに掲載して発信を行った。
- 試験栽培用地を確保し、楮の栽培を進め、地元住民がほ場の維持管理をしている。
- 試験栽培用地のほか、新たに楮の植栽を行い、R6年度は栽培面積を増加させた(約2.25倍)。
- 糸を製造するための繊維採取を行い、製品化に向けた試験を実施。
- 民間事業者が地域内施設を生産拠点とし、地域産の楮を縫製や草木染め、和紙作りに活用することを予定しており、今後は更に楮の需要増加が見込まれる。



【楮の栽培面積】



【収穫した楮】

### 【地域の現状・課題】

- 紀北町中里地区の農地は、湿害が発生しやすく、水稻以外の土地利用型作物の導入が困難。中山間地のため、大規模な生産拡大が困難。(紀北町の総面積の約9割を森林が占める)
- 高齢化が進み、農業者が減少。耕作放棄地の拡大が深刻。営農継続に向けて作業負担の軽減が課題。
- 生産者の収益力向上につなげるため、高収益作物の選定と作付計画の作成が必要。
- 直売が中心であるため、地域住民の需要に応える野菜の生産・販売の仕組みづくりが求められる。

### 【地域の位置】

#### 【三重県中里地区】(紀北町)

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島、農林統計上の中山間地域]



中里地区

### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 高収益作物の栽培実証と地域住民へのマーケティング調査

##### 【元気な地域創出モデル支援】

- 環境計測機器を用いて土壌水分をモニタリングし、効率的な水管理によるジャガイモ、サトイモの栽培や大根の緑肥栽培などを実証。
- トウモロコシやサトイモなどの高収益作物の栽培における雑草対策などをまとめたマニュアルを作成。
- ジャガイモについて、地域住民を対象に嗜好性などを把握するため、試食とアンケート調査(購入頻度、購入量等)を実施。
- アドバイザー派遣により、アンケート結果を踏まえた販売方法を検討。



環境計測機器



アドバイザー派遣による販売方法の検討

#### 事業完了後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 高収益作物の安定的な収量の確保・販売方法の立案

- マニュアルを活用し、ジャガイモ、トウモロコシなどの高収益作物の栽培により、作業負担を軽減し、安定的な収量を確保。
- アンケート調査やアドバイザーとの検討の結果を踏まえ、ジャガイモの作付品種や袋詰め販売などの実践を計画中。



マニュアルを活用したトウモロコシ栽培

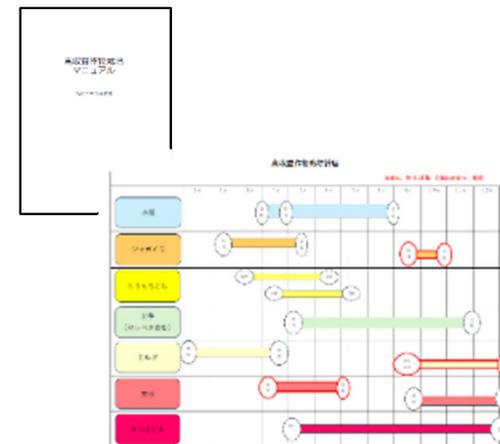


袋詰めしたジャガイモの直売を検討

### 事業の効果

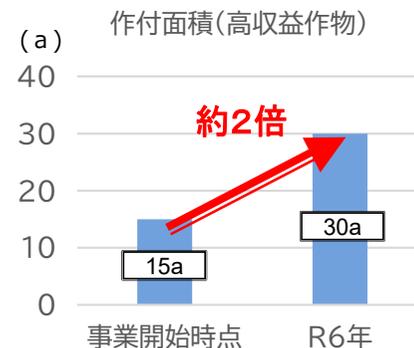
#### 栽培の安定化による作付面積の増加

- マニュアルを活用して天候不順や連作障害に対応した高収益作物の栽培が可能になった。



栽培マニュアル

- 多雨地域で水稻以外の土地利用型畑作物の導入が難しい状況において、高収益作物の栽培面積を増加させることができた。





### 【地域の現状・課題】

#### 【現状】

- 京都府では、中山間地域が耕地面積の約7割と多く、集落営農組織数は増加傾向にあるが、厳しい経営状況の組織が多い
- 過疎や高齢化による農業の生産力低下と農村コミュニティの衰退が懸念される

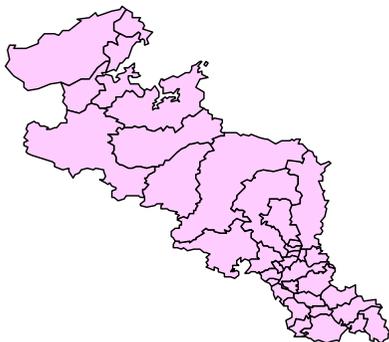
#### 【課題】

- 中山間地域の生産力及びコミュニティの維持に向けて、省力化等が可能となるスマート技術の効果を農業者に知ってもらい、生産現場へのスマート技術の現地導入を進める必要がある

### 【地域の位置】

#### 【京都府】

[指定地域：特定農山村、振興山村、指定棚田地域、過疎地域、半島地域]



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### スマート技術の普及に向けた支援

##### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- スマート技術導入に係る地域相談会の実施やスマート技術の普及拡大に向けた講演・展示会の開催

##### 【元気な地域創出モデル支援】

- 環境モニタリング等のスマート機器をモデル的に活用することで、栽培技術等の習得及び栽培マニュアル作成によるスマート技術の普及

#### 取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

#### スマート技術に関する相談会等の開催や技術マニュアルの作成

- スマート技術に関する相談会の開催（計4回、相談82件）、鳥獣対策や茶業をテーマとした講演・展示会の開催（参加者206名）
- 環境モニタリング等を活用した栽培技術等のマニュアル作成（11事例）



農業者を対象とした講演会



作成したマニュアル

#### 地域を下支え

#### 担い手の定着に向けた取組

#### 新たな担い手の確保に向けた支援

- 地域向け移住者受入体制づくりに資する研修等の実施（計5回、参加者221名）

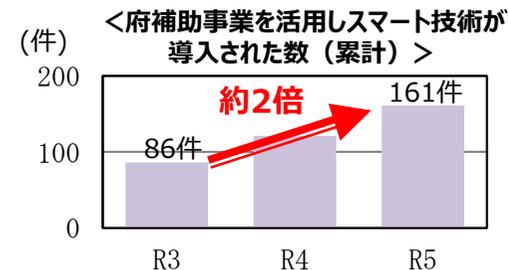


研修会の様子

### 事業の効果

#### スマート技術による生産力及び農村コミュニティの向上

- スマート技術の導入に向けた個別指導により、現場へのスマート技術の普及につながった



- 環境モニタリング等を導入し、栽培管理データ等を活用した農業が普及した



えびいもの生産状況のモニタリング

- 移住促進特別区域の増加につながった



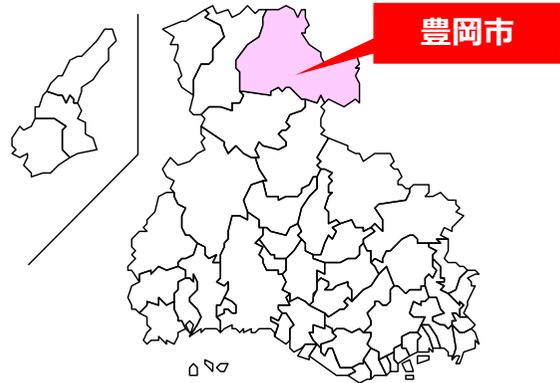
【地域の現状・課題】

- 豊岡市の農業は水稻栽培が中心
- 高齢化・人口減少により、農業の後継者不足が深刻な課題  
60歳以上の基幹的農業従事者の割合90%  
70歳以上の基幹的農業従事者の割合66%  
(2020農業センサス)
- 高齢化から一斉にリタイアすることが考えられ、受け皿としての集落営農組織や認定農業者の育成、スマート農業による省力化、経営コストの低減が必要
- 高付加価値のコウノトリ育む農法による米の生産拡大を図ることで、農家の所得向上を図ることが必要

【地域の位置】

【兵庫県豊岡市】

[指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎]



中山間地農業ルネッサンス推進事業

コウノトリ育む農法拡大に向けた調査

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 新規就農者への支援や農福連携についての先進事例調査
- 農家の所得向上に向け、マーケット調査
- 省力化に向け、ICTの活用などスマート農業の事例調査
- 水稻の試験栽培の実施



農福連携先進地視察 (長野県上田市)



試験栽培

取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

高付加価値作物 (コウノトリ育む農法) の導入支援

- コウノトリ育む農法アドバイザーの設置及びアドバイザーによる指導
- 情報発信によるコウノトリ育むお米の販路拡大【市単独事業】



アドバイザーによる指導会



販売促進活動

地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金（支援事業）】  
【中山間地域等直接支払交付金（連携事業）】等

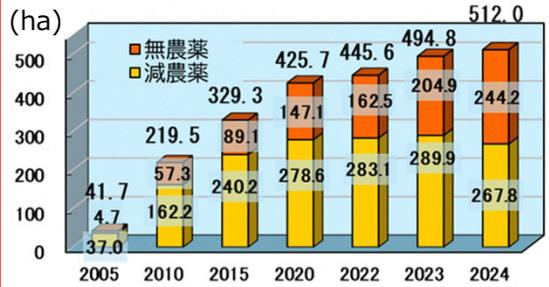
事業の効果

コウノトリ育む農法の栽培面積の拡大

- 高付加価値作物（コウノトリ育む農法）の栽培面積の拡大

＜コウノトリ育む農法の水稲作付面積＞

2005年:41.7ha → 2024年:512ha  
12.3倍に増加



コウノトリ育むお米

### 【地域の現状・課題】

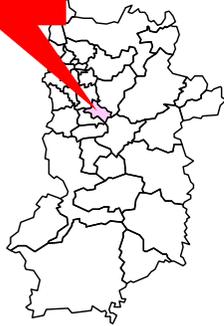
- 水稲と野菜を中心に、果樹や花き等は少量多品目での生産が多く、1経営体あたりの耕作面積は県平均値と比べても小さく、農業者の高齢化や担い手不足、さらには獣害によって耕作放棄地の増加が懸念されている。
- 棚田オーナー制度や、観光農園等による都市農村交流も積極的に取り組んでおり、複合経営により所得向上を図っているものの、作業効率を高めるための農地の区画拡大や集積は進んでいない。
- 平成8年に開始した「棚田オーナー制度」も獣害の増加により年々活動規模が縮小。また、オーナー活動拠点施設が周辺の棚田景観の阻害要因になっている。

### 【地域の位置】

【奈良県】(明日香村稲澁地区)

[指定地域：特定農山村、過疎、指定棚田]

稲澁地区



令和7年で明日香村の棚田オーナー制度は30周年を迎える

### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 棚田オーナー制度の再生・活動継続への支援

##### 【元気な地域創出モデル支援】

- 景観に配慮した棚田オーナーの活動拠点施設（ハウスの張替、掲示板等の設置）及び棚田オーナーの受入れ体制の整備。



ハウスのビニール張替



掲示板



野菜台



収納設備

- イノシシ・シカによる被害防止対策のため、オーナー栽培田の外周にワイヤーメッシュ等を設置。



獣害対策

### 事業完了後の展開

#### 実証事業の成果を活用した取組

#### 棚田オーナー等による地域住民への活動支援

- 棚田オーナー数が増加することで、迎え入れる地域住民の活動意欲が向上し、棚田の景観保全活動が継続。
- 農業用水路の土砂出しや農道の草刈りといった重労働の共同活動に棚田オーナーや学生ボランティアが積極的に協力してくれることで、地域住民の負担軽減につながっている。



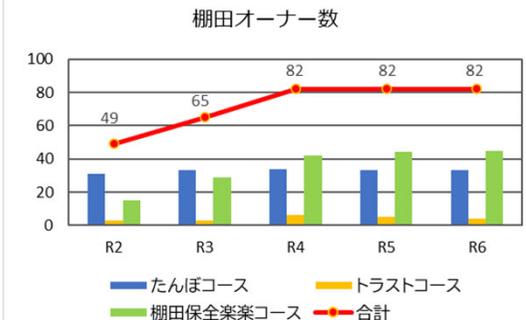
農業用水路の土砂出し

### 事業の効果

#### 棚田オーナー活動が継続され活動が活性化

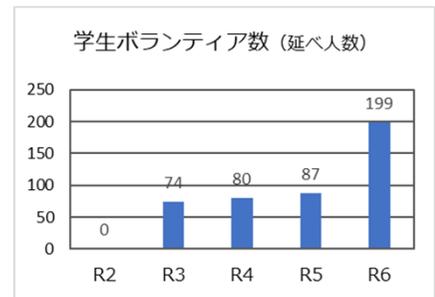
- 棚田オーナー数の増加

R2 49区画  
R4～R6 82区画



- 棚田保全活動を行う学生ボランティアの増加

R2 0人 (コロナ禍で活動中止)  
R6 延べ199人



イベント開催時に学生ボランティアによる棚田保全募金の呼びかけ

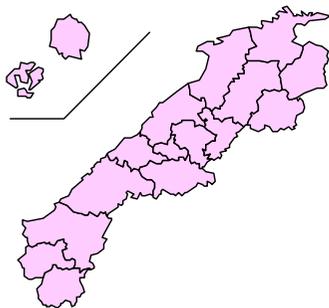
### 【地域の現状・課題】

- 島根県は、農地に占める水田の割合が高く（水田率：島根県81%、全国54%）、気象や土壌等の条件が適していることから、長年米作りを農業の主体としてきた。
- 一方で、人口減少等に伴う米の消費減少が続いており、持続可能な農業・農村の実現に向けて、水田園芸の取組を定着させ、水田農業における収益性の向上を図ることが重要。
- 基幹的農業従事者は約50%減少しているため、労力補完の仕組みなど、新たな担い手が安定的に参入できる環境を整えていく必要がある。  
基幹的農業従事者【20年間で約50%減少】  
平成12年：28,870人  
→ 令和2年：14,438人

### 【地域の位置】

#### 【島根県】(全域)

〔指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島、離島、指定棚田、旧急傾斜法の指定地〕



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 水田園芸の推進品目の収益性確保等に向けた実証試験

##### 【元気な地域創出モデル支援】

- 需要の拡大が見込まれる野菜（キャベツ、タマネギ、ブロッコリー、白ネギ、ミニトマト、アスパラガス）を推進品目に掲げ、中山間地域を中心に生産拡大や産地化を推進。
- 収益性の向上を図るため、島根県農業技術センターを中心に現地試験を行い、栽培指針を改訂。
  - ・キャベツ、タマネギ：施肥の省力化
  - ・ブロッコリー：低コスト化
  - ・アスパラガス：収量向上、早期出荷等
- 中山間地域での労力補完の仕組みづくりを進めるため、キャベツ、白ネギの収穫作業の機械化について現地試験を実施。



キャベツの施肥試験



アスパラガスの畝保温による早期出荷試験

### 事業完了後の展開

#### 実証事業の成果を活用した取組

##### 栽培管理の指導や機械導入による推進品目の産地化

- 全国平均以上の単収確保、省力化を目指して、改訂した栽培指針等を活用し、研修会やきめ細かな栽培管理の指導を実施。
- 機械化による省力化効果など試験成果を活用し、中山間地域での機械導入を進めることで、新たな担い手の確保や規模拡大を図る。



栽培管理研修会の開催



白ネギ収穫機の実演会の開催

### 事業の効果

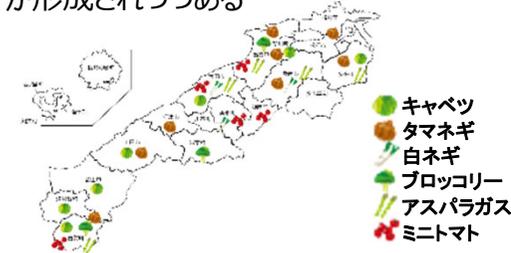
#### 水田園芸の取組が拡大

- モデル的な経営体では、栽培管理を徹底し、全国平均以上の反収を確保するとともに、追肥の省力化により、施肥に係る労働時間の約50%の削減を見込む

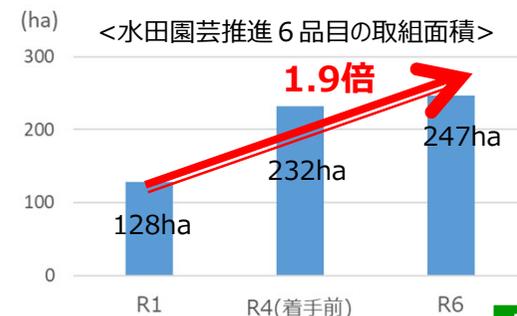


集落営農法人でタマネギを導入し、収益を確保することで経営改善に寄与

- 推進品目の栽培技術指導や機械化等に取り組み、中山間地域を中心に産地が形成されつつある



- 推進品目の取組面積は拡大  
128ha(R1) → 247ha(R6)



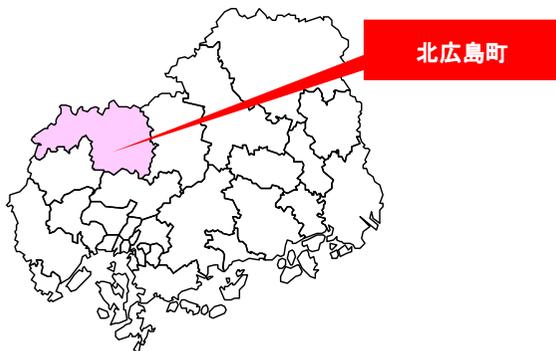
【地域の現状・課題】

- 北広島町は、夏に冷涼な気候を活かしたミニトマト、ホウレンソウの産地強化に取り組んでいる
- 高齢化、担い手不足により生産者の減少が課題
- 産地のブランド維持には、安定した生産量と高い品質が求められる
- 産地の生産規模と高い品質を確保していくためには、新たな担い手となる新規就農希望者を県内外から確保するとともに、確立された研修プログラムの実施により、レベルの高い担い手を育成していくことが急務

【地域の位置】

【広島県北広島町】

[指定地域：振興山村、過疎、農林統計上の中山間地域]



北広島町

中山間地農業ルネッサンス推進事業

新規就農希望者とのつながり創出と情報発信

【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

○都市部で開催される就農相談会への出展  
「新規就農希望者とのつながりを創出」



就農相談会

○新規就農者に対する支援策や研修内容をPR  
・農業専門サイトを活用した情報発信  
・新規就農者募集冊子の作成（支援策や研修内容を掲載）

研修生の受け入れ

新規就農研修制度による担い手農家の育成

【新規就農研修】 研修から就農までを総合的にサポート

- 先進農家で2年間の実地研修
- 県・JAと連携した月1回の座学研修（技術指導・市場視察・簿記等）
- 2年目には、自らが就農するパイプハウス等の建設研修



ミニトマトの栽培実地研修



栽培技術向上座学研修



パイプハウスの建設研修

独立自営就農

産地の担い手農家として就農

産地を支える担い手として活躍！

- 高齢化により担い手不足が深刻化する中、新たな担い手として新規就農者に対する期待は大きい。  
研修を終了した就農者は、生産者グループの中でも即戦力として活躍している。

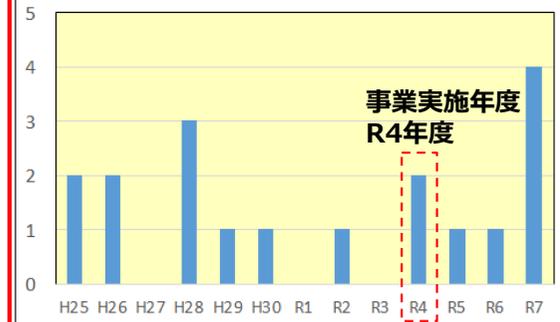


頑張る新規就農者

事業の効果

新規就農者の育成による産地強化・維持

○新規就農者数の推移（人・年度）



＜平成25年から令和7年までの12年間で  
研修生18名のうち17名が新規就農＞

ミニトマト 10名  
ホウレンソウ 5名  
水稲 2名

定着率94%

産地の強化・維持

○ミニトマト生産面積・販売額の推移

令和2年度 3.00ha 88,164千円  
令和4年度 3.16ha 104,014千円  
令和6年度 3.30ha 114,280千円

○ホウレンソウ生産面積・販売額の推移

令和2年度 4.76ha 86,351千円  
令和4年度 5.33ha 117,560千円  
令和6年度 5.68ha 123,971千円

（まとめ）

高齢化による生産者の減少があるものの、新規就農者が就農することで、産地の生産面積、販売額はともに増加しており、産地の強化が図られている。

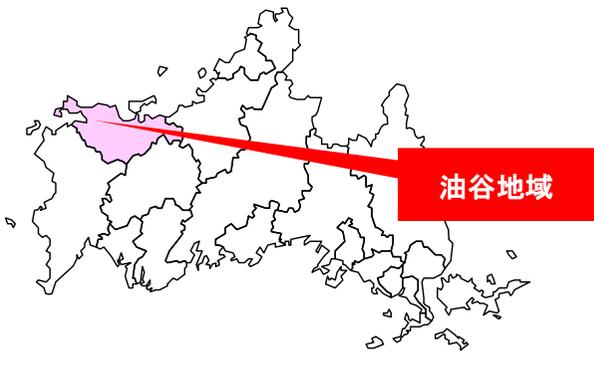
【地域の現状・課題】

- 長門市では、油谷地域において向津具半島を中心に約600haの広大な棚田を有しており、県下で唯一「日本の棚田百選」に認定された棚田は、棚田×日本海×漁火の美しいコントラストで多くの来訪者を魅了している。
- 地域の高齢化が著しく地域活動の維持・継続が困難となりつつあり、棚田の機能及び景観の保全も困難な状況である。  
(高齢化率：H27年：39.7%  
→ R2年：44.0%)
- 担い手不足、人口減少により、荒廃した棚田や遊休農地が増加している。  
(遊休農地：H27年：30ha  
→ R2年：36ha)
- 地域情報を発信し、棚田を中心とした地域の関係人口の拡大を図ることが必要。

【地域の位置】

【山口県油谷地域】(長門市)

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、指定棚田]



油谷地域

中山間地農業ルネッサンス推進事業

情報発信による棚田地域への来訪・誘客の促進

【元気な地域創出モデル支援】

- 棚田に関する情報を更新、整理するとともに、SNSやHP等の閲覧者を増加させる仕掛けづくりにより、棚田地域を広く周知



動画の作成・HP掲載



パンフレット作製

- 棚田地域への来訪をスムーズにするるとともに、地域資源の状況等を調査し、誘客を促進するためのサイン計画を策定
- サイン計画を基に誘導看板を設置  
「棚田」案内看板の設置（6カ所）



事業完了後の展開

実証事業の成果を活用した取組

関係人口の拡大による棚田地域の経済活性化

- ブラッシュアップした「ながと棚田物語」のホームページをプラットフォームとして、継続的に情報発信・魅力発信を進める。
- 作成したサイン計画を基に、棚田の認知と関心を高め、棚田地域の交流人口・関係人口を拡大し、地域経済の好循環につなげる。



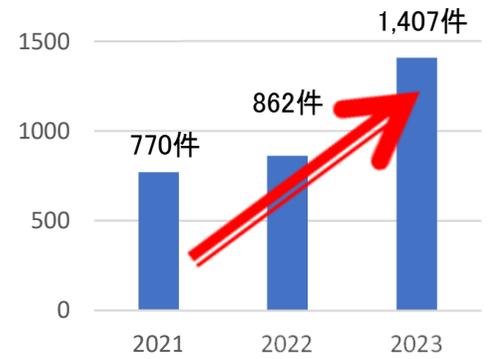
棚田マルシェの開催

事業の効果

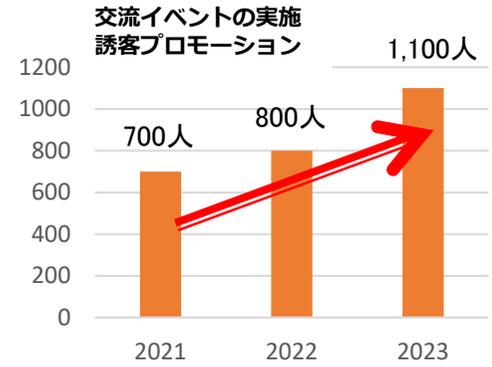
関係人口の拡大

- 本事業の実施により、魅力ある棚田地域の情報発信が進み、旅行者・移住者・耕作者等の関係人口が拡大し、棚田地域を活性化させている。

＜棚田WEBサイトの閲覧数＞



＜関係人口（人数）＞



# 世界農業遺産「傾斜地農耕システム」など地域の継承と保全に向けた農泊経営者等の経営力向上支援

## 【徳島県にし阿波地域】(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)

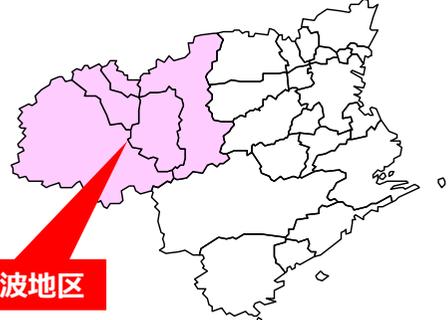
中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援				
	収益力向上	販売力強化	農用地保全	複合経営	生活支援

### 【地域の現状・課題】

- 徳島県にし阿波地域は、剣山や吉野川などの豊かな自然や秘境祖谷、うだつの町並みなどの観光資源、半田そうめんや祖谷そばなど風土が育てた伝統的特産品など優れた地域資源に加え、四国三県に接しており、高速道路や鉄道により四国の交通ネットワークの中心に位置するという地域特性を有している。
- 当地域は「観光圏」、「SAVOR JAPAN」、「世界農業遺産」の3つの認定を受け、農業・食・観光の関係者が連携した取組を推進。
- 農泊では、令和5年度は過去最高の約7,000人の体験型教育旅行の生徒を受入れ、世界農業遺産の継承、保全に向けた地域内経済循環の重要な要素となっている。一方で、地域内の旅行者の受入人数の上限を超えたことから、県外に斡旋しており、農泊実践者を拡大する必要がある。
- 新型コロナの影響により休業し、農泊実践者の高齢化からそのまま休業する施設が出てきており、休業している施設の再稼働や、新規参集者の育成・確保が課題である。

### 【地域の位置】

【徳島県 にし阿波地域】  
(美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町)  
(指定地域：過疎、振興山村、特定農山村)



にし阿波地区

### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 農泊実践者の育成・確保

#### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- にし阿波地域で、旅行者の需要が拡大している農泊の取組を推進するため、①休業中の農泊施設の再稼働の推進、②新規参入者の育成・確保に向け、関係者と連携し、農泊の登録拡大に取り組む。
- 農泊に取り組む農家のスキルアップ研修やアンケート分析等により、フォローアップを行い、農泊をビジネスとして推進。



スキルアップ研修

#### 取組を深化

#### 「インバウンドに対応した農泊地域の経営強化」

#### 農業・観光・食連携による滞在型（体験型）観光の推進

- 世界農業遺産、観光圏事業との連携、SAVOR JAPANの情報発信力を活用した取組を推進
- 「SDGs」や「サステナブル」といった新たな視点からの滞在型観光コンテンツの高付加価値化
- 地域内飲食店との連携強化及び世界農業遺産認定ブランド品目を使用したメニュー開発
- Online Travel Agent登録、自動翻訳機やキャッシュレス決済の導入等によるインバウンドに対応した体制整備の促進



世界農業遺産ランチ

【農山漁村振興交付金(農泊地域経営強化タイプ)】

#### 地域を下支え

#### 地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

#### 地域の共同活動による農地保全管理の推進

- 農村地域の共同活動の支援、地域資源の適切な保全管理の推進など、地域を下支えする取組を展開

【多面的機能支払交付金(支援事業)】  
【中山間地域等直接支払交付金(連携事業)】等

### 事業の効果

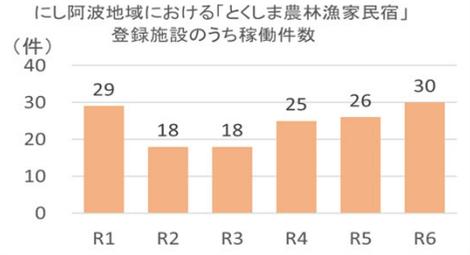
#### 農泊の拡大

- 研修会に対するアンケート調査で、参加者から「非常によかった」、「よかった」と回答を得る満足度の高いSNS活用等の研修を実施

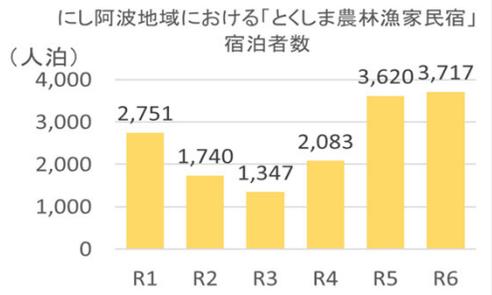


農家民宿スキルアップセミナー

- コロナ禍で減少した農泊の稼働状況が、コロナ禍前の水準にまで回復



- 農泊の利用者は年々増加



- 農泊の取組を通じて、世界農業遺産認定「傾斜地農耕システム」をはじめとする、本地域の農業、文化、伝統等を国内外に発信し、関係人口の拡大を図ることで、継承・保全につなげる

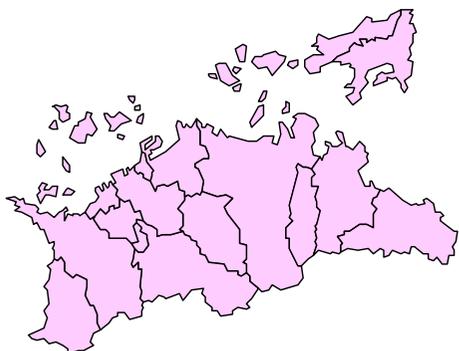
### 【地域の現状・課題】

- 香川県の中山間地域等は、讃岐山脈の急峻な山沿いや瀬戸内海の島々があり、温暖な気候を生かした幅広い形態の農業が営まれている。
- しかし、本件における基幹的農業従事者は5年前より24.2%減少している。また、平均年齢は71.3歳と高齢化が進行しており、過疎化も進んでいる（2020農林業センサス）。  
基幹的農業従事者【5,702人減少】  
2015年：23,892人 → 2020年：18,190人
- こういった状況が、地域コミュニティの低下や鳥獣被害の多発、水路・農道等の管理不足等を招き、荒廃農地の発生につながっている。
- そこで、本県の中山間地域等の活性化を図るため、集落機能を維持するための手法や仕組みづくりの検討に加え、地域外との交流を増やす取組を支援する必要がある。

### 【地域の位置】

#### 【香川県（全域）】

【指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、離島、棚田】



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 研修会の開催及び事例集作成に向けた現地調査

##### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 中山間地域等における集落機能強化や人材確保に向けた手法について、研修会を実施（参加者70名以上）。
- 中山間地域等における多様な担い手の確保として、県内で「半農半X」に取り組む農業者等を対象に聴き取り調査を実施。



研修会

#### 取組を深化

#### 多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

#### グリーン・ツーリズム及び農泊実践者への支援

- グリーン・ツーリズム実践者が、都市との交流をより活発かつ効果的にする手法を検討する機会を提供するため、体験モデルの企画を実施。
- 農泊施設の開業希望者向けに支援セミナー等を実施。また、既開業者を対象に情報発信講座を行うなど、地域の受入体制を強化。



グリーン・ツーリズム体験モデルの企画



開業支援セミナー

【農山漁村振興交付金（農泊推進対策）】

#### 地域を下支え

#### 地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

#### 中山間地域等の集落機能を維持する活動への支援

- 中山間地域で行われる共同活動、農地の保全管理に対して支援し、将来にわたる集落機能の維持する活動を下支えする。

【中山間地域等直接支払交付金】

### 事業の効果

#### 中山間地域等の活性化に向けた支援

- 優良事例集の作成・配布

「半農半X」に取り組む農業者等に聴き取り調査を行い、事例集として取りまとめ、地域の多様な担い手の活動について、横展開を図った。



半農半X事例集

- 中山間地域等直接支払制度の協定数と取組面積



集落機能維持、地域の将来を話し合う地盤となる中山間直払協定は増加傾向。

#### 農林漁家民宿数の増加

- 農泊事業者を対象とした研修、個別相談等の支援により、農泊施設が毎年開業している。

年度	R2	R3	R4	R5
開業数	3	6	4	5

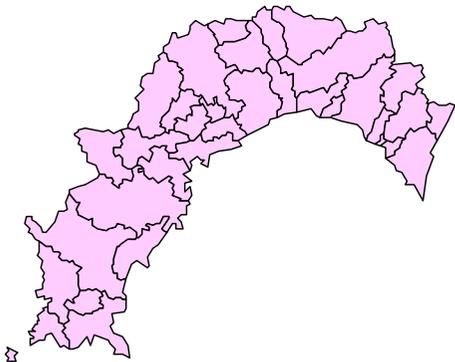
### 【地域の現状・課題】

- 高知県は東西に長く広がり、中山間地域が多く平野部が少ないことから、生産される農産物は地域ごとに特徴がある。
- 県内各地の直販所においては、年間を通じて様々な農産物等が販売されており、県民に広く親しまれている。  
(R5年6月時点で、135店舗の直販所が運営している。)
- 生産者の高齢化等による直販所への出荷量減少や時期によっては品目に偏りが生じるため、店舗運営が困難となることが懸念。  
(店舗数 R4年：142店舗  
→ R5年：135店舗 5%減)
- 直販所は、生産者所得の確保・中山間地域の活性化に資する重要なインフラであり、店舗維持の対策が急務。

### 【地域の位置】

#### 【高知県内全域】

[指定地域： 特定農山村、振興山村、過疎、半島、離島、指定棚田、農林統計上の中山間地域]



### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 販売促進に向けた実態・意向把握と直販所間交流の推進

##### 【元気な地域創出モデル支援】

- 直販所間の商品・情報を相互供給する「直販所間取引」に関する意向調査を実施し、直販所側の実態・意向を把握。

##### 〈意向調査について〉

- ・実施した直販所は全体の28%で、うち半数の売上が向上。
- ・取引先を5店舗以上持つ直販所が4割に上った。
- ・取引における課題として、「取引方法が分からない」といった意見が寄せられた。

- 取引に関心のある直販所へのヒアリングや直販所間のマッチングに向けた交流商談会を開催（13店舗が参加）。



直販所間のマッチングに向けた交流商談会

#### 事業完了後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 直販所間取引の拡大による販売促進

- 直販所を対象とした研修会等において、直販所間での交流を実施している事例報告や、直販所間取引の検証結果を周知し、中山間地域における直販所間取引数を増加させる。
- 「直販所間取引マニュアル」を直販所間交流商談会等で周知し、取組の手引きとして活用を図る。



取組状況の情報交換  
(直販所交流商談会)

### 事業の効果

#### 直販所間取引による経営力の強化

- 取引に関心のある直販所へのヒアリングや直販所間交流商談会により、新たに4直販所が直販所間取引を開始。
- 今後も、直販所間取引の推進により、売上を向上させ、店舗経営を維持することで、地域の課題解決を図る。



直販所の運営状況



取引の拡大に向けた直販所間の交流

# 中山間チャレンジコーディネーターの派遣や成果報告会の開催、事例集の作成 【佐賀県】

中山間地農業  
ルネッサンス  
推進支援

元気な地域創出モデル支援  
収益力向上 販売力強化 農用地保全 複合経営 生活支援 デジタル技術の活用

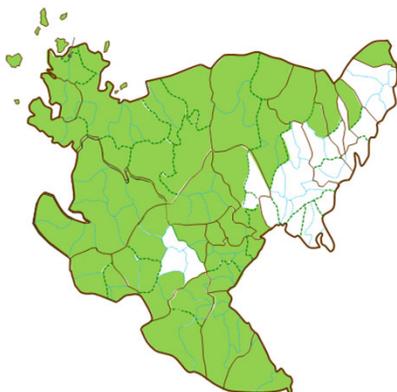
## 【地域の現状・課題】

- 中山間地域では、米、みかん、肉用牛など、本県を代表する農産物の産地が形成されているが、担い手不足、耕作放棄地の増加、鳥獣による被害など多くの課題を抱えている
- 農業所得の確保に向けて、既存の農業経営の効率化や収益性の高い新たな品目の導入、高付加価値化などの取組や次世代の地域農業を担う若手農業者の育成などを推進していく必要がある
- 中山間地域の集落や産地において、現状と将来について話し合いを行い、地域自らが設定した目標の実現に向けて、できることから実践していくことが重要
- 地域で人々が快適に暮らせるよう、生活環境基盤の整備や、地域資源を地域ぐるみで維持していく取組を推進していく必要がある

## 【地域の位置】

【佐賀県】対象地域：全域

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島、離島、棚田]



## 中山間地農業ルネッサンス推進事業

### 地域の課題に応じたアドバイザーの派遣

#### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 地域課題に応じたアドバイザーを派遣し、指導や助言を実施
- 中山間チャレンジコーディネーターによる集落訪問を行い、事例、施策等の紹介を実施
- 各地域の活動状況をSNS等にて情報発信



中山間チャレンジ  
コーディネーター訪問

### 取組を深化

多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

### 所得向上や担い手の定着に向けた取組

- 支援者（関係機関職員等）向けのテーマ別セミナーの開催
- モデル地区等の取組に関する事例集の作成、成果報告会の開催



成果報告会

### 地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承

### 地域の特色を活かした創意工夫にあふれる取組

- 市町・JA等で構成する市町推進チームによるチャレンジ集落・産地の選定及び支援
- 地域推進チームによる市町推進チームの活動支援、重点地区の支援
- モデル地区や関係機関を対象に、それぞれの課題に応じたアドバイザーの派遣



リモコン草刈り機研修

## 事業の効果

### モデル地区等における地域目標の課題解決

- 各地区の取組成果をまとめた事例集の作成



「それぞれの中山間チャレンジプロジェクト事例集」作成



2018-2022 成果事例 20地区

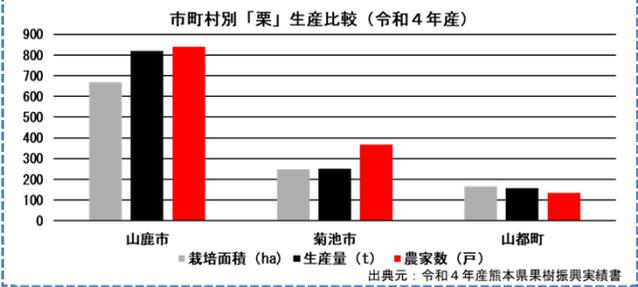
- 県・市町・JAが連携し、モデル地区への継続的な支援や、支援者向けセミナーの開催、中山間チャレンジコーディネーターによる訪問等の取組を総合的に行った。その結果、モデル地区における実践と、地域の目標を達成するうえでの収益力向上、栽培拡大、人材確保等の課題の解決を図ることができた。

# 地域資源を活かした農畜産物の高付加価値化による魅力ある農業の創出 【熊本県山鹿地域】(山鹿市)

中山間地農業 ルネッサンス 推進支援	元気な地域創出モデル支援					デジタル技術の 活用
	収益力向上	販売力強化	農用地保全	複合経営	生活支援	

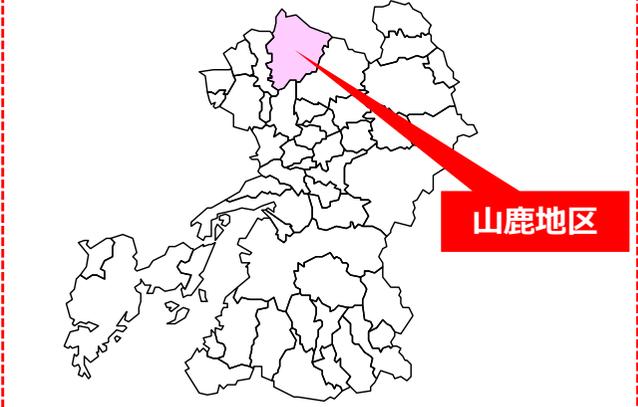
## 【山鹿地域の現状・課題】

- 「やまが和栗」は山鹿市を代表する農産物であり、西日本一の生産量を誇る栗の産地である。
- 「くまもと山鹿和栗スイーツフェア」が定着するなど、食や観光資源としても重要なコンテンツとなっている。
- 近年の栗ブームで、山鹿市内の和洋菓子店からの栗の取扱いの意向はあるが、地域内で加工・流通する仕組みが構築できていない。
- 西日本一の生産量を誇り、県外に「熊本の和栗」として流通しているが、十分にコンテンツとしても、素材としても利用が出来ていないため、山鹿市が栗の産地だという認知度が低い。



## 【地域の位置】

【熊本県山鹿地域】(山鹿市山鹿地区)  
[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎]



## 中山間地農業ルネッサンス推進事業

### やまが和栗の認知度向上に向けた取組

- 【元気な地域創出モデル支援】
- 「やまが和栗」の振興に向けたニーズ調査を実施  
山鹿市において、市内の73業者（菓子店等）に調査を実施。栗のペーストについて、14事業所が利用し、流通量は計4.8トンである。5年後には、20事業所から12トンの流通量の要望があり、渋皮煮、甘露煮、むき栗同様にニーズの高さが分かった。
  - 商品開発を実施  
①栗だんご、②栗ミルクプリン、③栗ようかん  
ふるさと食の名人や菓子店の協力を得て、新商品を3種類を開発。レシピはホームページで公開し、パンフレット等を山鹿市内の6物産館で配布。山鹿産の栗を使用し、家庭で作れるスイーツづくりについて発信した。
  - 認知度向上のためのPR素材の作成  
「山鹿市＝栗」というイメージを定着させるため、のぼりやパンフレット等を作成し、宣伝活動を行った。



栗ミルクプリン



のぼりを使用した宣伝活動

## 事業完了後の展開

### 実証事業の成果を活用した取組

#### 山鹿市全体で取組もう

- 令和6年5月に、JA、熊本県、山鹿市、生産者、観光協会、商工団体等11団体で、「やまが和栗振興協議会」を設立し、「やまが和栗」で『日本一稼ぐことができる山鹿市』を目指し、取組を加速させている。
- 山鹿和栗スイーツフェアは、38店舗が参加し、約32万人が訪れるグルメイベントとなっている。
- 元気な地域創出モデル支援を活用し、収益力向上に関する取組を実施。



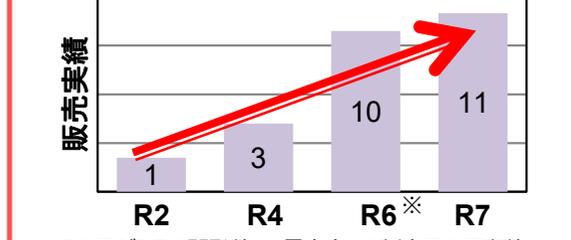
毎年、実施される人気グルメフェア (9月～11月)

## 事業の効果

### 新たな土産品として人気商品に！

- ふるさと食の名人が作る栗だんご  
栗だんご  
  
ふるさと食の名人 
- 山鹿和栗スイーツフェアの参加店舗の「栗だんご」は、朝から長蛇の列ができる人気商品となっている。
- 栗のミルクプリンは、冷凍保存が可能なムースとしてブラッシュアップされ、山鹿和栗洋菓子店 An(杏)が「ぐりコロムース」として販売している。
- 令和6年度の「山鹿和栗スイーツフェア」の3か月間の38店舗の売り上げは、約1億5千万円となった。令和6年度から毎年6月に、スイーツフェア見本市を実施し、新作を販売する機会を設けている。

### 栗で商品開発された数



※ R6及びR7の開発数は、見本市での新商品の販売数(実績)

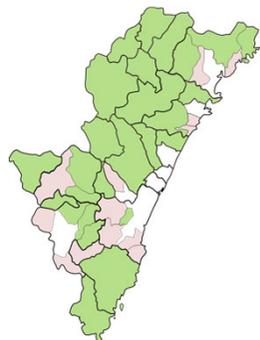
### 【地域の現状・課題】

- 宮崎県の中山間地域  
平地に比べて人口減少と高齢化がより顕著となっており、地域産業や集落活動の活力低下が懸念される。  
【人口減少】(2020年→2045年の25年後の予算値)  
今後25年で人口が36.4%減少  
(※中山間地域以外では15.4%減)  
平地の2倍以上のペースで人口が減少
- 【高齢化】  
高齢化率50%以上の集落数  
H23年1月時点 268集落(1,661集落中)  
R4年4月時点 774集落(1,682集落中)
- 条件不利な中山間地域の農村集落に人が住み続けていくためには、主要産業である農業に加えて別途所得を確保していくことが必要
- 集落が一体となり、地域に潜在する魅力ある資源を活用し、稼ぐ体制と雇用の場の創出が必要

### 【地域の位置】

#### 【宮崎県】宮崎県中山間地域振興条例

県土の約9割が  
中山間地域



■ 地域振興5法指定地域  
(過疎法、離島振興法、山村振興法、半島振興法、特定農山村法)

■ 地域農業類型の中間・山間農業地域  
(上記指定地域を除く。S25合併区分)

### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 中山間地域で稼げる集落ビジネスモデル構想の策定支援

##### 【中山間地農業ルネッサンス推進支援】

- 中山間地域で稼げる集落ビジネスモデル構想の策定支援を実施

##### <宮崎県五ヶ瀬町のモデル例>

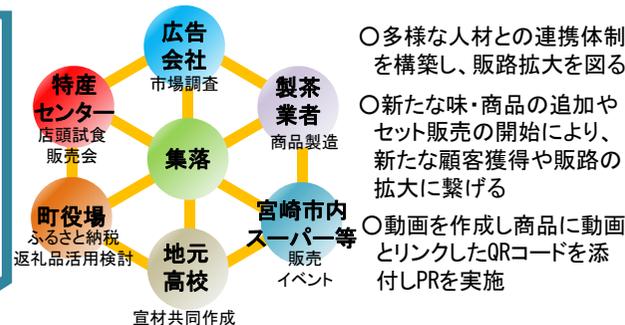
##### 現状・課題認識

- 地元農産物を使用した菓子等について、販路拡大が必要
- 新たな顧客獲得ができておらず、売上げが鈍化傾向

##### 集落での話し合い

- 【集落全体で協力して稼ぐ体制づくりの構想策定】
- 既存商品のリブランディング方針会議を集落で実施

##### 集落ビジネスモデル構想策定



宣材共同作成



モデル構想策定と  
実現に向けて  
伴走するサポーター

### 取組を深化

#### 多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援

#### 集落ビジネスモデル構想の実証

- 構想実現に向けた新たな取組の実証・調査等を支援

##### 【中山間地域で稼げる集落モデル構築支援事業(県単独事業)】



新商品検討会  
(特産の茶を活用)



パッケージ刷新



PR動画作成

### 事業の効果

#### 地域ブランドの強化と地域の活性化

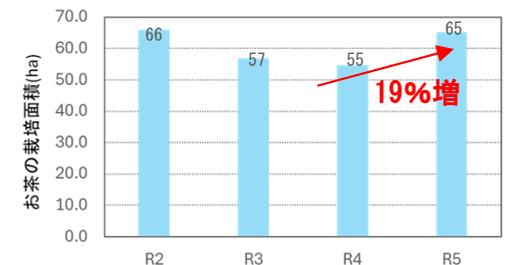
- 地元農産物の茶などを使用した加工品の開発・販売促進



地元農産物を使用した加工品

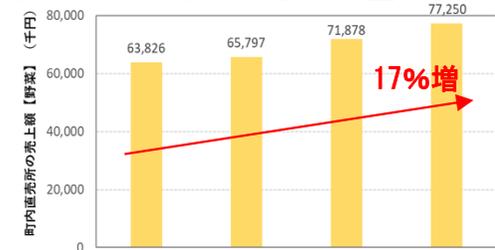
事業を通して、集落と製茶業者、地元の学校、特産センター等の多様な主体が連携・役割分担し、課題解決に取り組む体制を構築。また、地域の学生が農業や集落の現状を学ぶ場の創出にも繋がった。

- 茶の栽培面積<五ヶ瀬町>



茶の栽培面積は減少傾向であったが、茶を活用した商品開発等を実施し、近年の栽培面積は増加傾向に転じている。

- 町内特産センターの野菜売上



集落で開発した特産品等について、店頭試食等を実施し、実際に商品を扱っている特産センターは、順調に売上げを伸ばしている。

### 【地域の現状・課題】

- 大隅地域は、鹿児島県の東部に位置しており、温暖な気象条件や広大な畑地を生かした県内有数の農業地帯となっている。（県全体の畑地面積のうち地域が占める割合31.6%）
- 農業従事者の高齢化・減少により、農業労働力不足が課題となっており、農産物の付加価値の向上に向けた取組が必要となっている。
- 農福連携に取り組んでいる事務所等は、これまで課題を共有する状況になかった。
- 農業サイド、福祉サイド双方の人的ネットワーク等を通じたコンソアームによる地域振興が必要である。

### 中山間地農業ルネッサンス推進事業

#### 農福連携による多様な連携

#### 【元気な地域創出モデル支援】

中山間地農業が抱える課題の解決を図るため、以下の内容について、研修会の開催や先進地事例の視察等を行った。

- 研修会開催（ノウフクJASによるブランディング）
- ノウフクJASの取得支援
- お試しノウフク実施のためのマッチング支援
- 先進地視察（農福連携商品の6次化、レストラン運営等の取組）
- ノウフクJAS取得に係るマニュアル作成、ホームページ作成



研修会



先進地研修

#### 事業完了後の展開

### 事業の効果

#### 農福連携による地域課題の解決

- ノウフクJASによるブランディングの研修会の実施や先進地視察会を行なったことで、ノウフクJAS取得に意欲的になり、3事業所が取得した。
- 年間を通じた研修会、会員同士のコミュニケーションなどを通して、講師や参加者同士のつながりができたことで、新たな取組・イベント・商品開発などが生まれるきっかけを作ることができた。

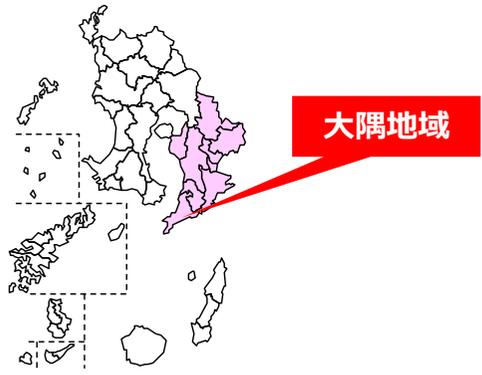


イチゴを使用したジェラート  
（フードロス削減×農福連携）

### 【地域の位置】

#### 【鹿児島県大隅地域】

[指定地域：特定農山村、振興山村、過疎、半島]



### 実証事業の成果を活用した取組

#### 農福連携による農産物の高付加価値化

- 福祉向け・農業者向けの研修会の開催（ノウフクJASの広報・紹介等も併せて実施）
- お試しノウフク実施のためのマッチング支援
- 先進地視察
- ノウフクJASの商品のマルシェ出店
- ノウフクJASの米を使ったノウフク非常食「緊急救命72hおかゆ」の自治体への販売
- 「小さいプロジェクト」による馬鈴薯フードロス対策・農福連携の商品「ノウフクスナック」の開発・販売



マルシェ出店

#### ノウフクスナック

